

就職内定率

99.6%

10年連続90%以上の
確かな就職実績を達成!



1 昨年度の就職状況について

昨年度の就職状況について、地域別では地元の広島県への就職が60%、広島県を除く中国地方が約19%、関東が約7%、近畿が約6%です。業種別では医療、福祉業が約37%、教育は約16%、卸売・小売業は約10%、製造業(事務職、営業職を含む)が約8%、となっています。また、公務、進学が各5%、金融業、不動産業は合わせて3%です。

このように、地域別、業種別の多様な就職実績は、本学の学生の出身地域と資格取得の実態、及び学修の成果を反映したものであると受け止めています。また、同様に、地元福山市をはじめとした備後地域等の、多くの事業所様からいただいた高い評価でもあると認識しています。



2 4年生の就職活動の状況及び本学の取り組みについて

現在、4年生も就職活動に活発に取り組んでおり、昨年の困難な状況を間近で見ていたことを生かして、早期から対応するなど、現実的に、また緊張感を持って取り組んでいる様子がうかがえます。本年度、行われたWEB説明会、WEB面接試験においても学生は順応性が高く、適切に対応ができています。このような学生の取り組みに対応して、キャリアカウンセラーにも、学生の多様なニーズに添って熱心に相談業務に当たっていただいております。学生の相談内容としては、自己分析、業界研究・職種選択、企業選択等に関することや履歴書の添削指導、面接指導が主な内容です。

このような様々なニーズに対して、就職課はキャリアカウンセラー、各学科の就職委員やゼミ担当の教員とも緊密な連携を図るなど、教職協働のサポート体制のもと、大学が一丸となり就職内定率100%達成をめざして、これからもしっかりと取り組んでいきたいと思ひます。



3 就職活動を取り巻く状況の変化

大卒採用の指針(いわゆる、「就活ルール」)は、令和3年3月卒以降については政府が主導することとなりましたが、現在就活中の現4年生に関しては現行ルールどおりです。つまり、説明会開始が3年生の3月1日、採用選考が4年生の6月1日の解禁で、正式な内定日は10月1日以降(9月30日以前の内々定は、学生を拘束しないことになっています)です。本年度の企業の採用活動の特徴は、コロナ禍以前の「早期化」が再現されていることです。各企業とも現在のコロナ禍の第4波までの経験を経て、先が読めない状況下で如何に早期に優秀な人材を確保するかということに懸命になっています。学生の就職活動もそれに呼応して対応しているのが現状だと考えています。そのため、この指針は形骸化の傾向を一層強めています。



4 状況の変化を踏まえた学生の心構えについて

上述のように、昨年からのコロナ禍により就職活動の様相は一変しました。コロナ禍以前の学生はクラブ活動など、学内外での様々な活動とおして身につけた自己の力や持ち味を、就職活動の場でアピールすることができました。しかし、大きな制約下で大学生活を送る現4年生は、上記のようなリアル体験を適切な工夫のもとに行いつつも、WEB対応力、読書などの間接経験等の質の高さなども求められます。要は、前向きな姿勢と行動です。

一人ひとりの学生の一日一日がより良い人生につながるよう、保証人の皆様と共に本学の全教職員もしっかりと学生を支援していきたく思ひますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

就職課 課長 能登 正雄



み
ゆ
き
レ
タ
ー



健康スポーツ科学科

聖火リレーに参加して

私は高校3年生の時にオーストラリアへ短期留学をし、そこでスポーツは国境を越えるという意味を、身をもって学ぶことができました。その時、改めてスポーツが好きだと実感し、スポーツの魅力を多くの人に伝えたいと強く思い、東京オリンピックの聖火ランナーに応募しました。昨年は、新型コロナウイルスの影響により東京2020オリンピックが延期となり、とても残念な気持ちになりました。また今年は、緊急事態宣言が出ている中で聖火リレーに私が参加していいのかと、ギリギリまで悩みましたが、聖火ランナーとしてオリンピックに携わりたいという思いで感染対策も十分に行い参加しました。5月18日に福山市総合体育館で行われた点火セレモニーでは、他の聖火ランナーやスタッフの方々と聖火への思いを共有したり、オリンピックに出場したこともある元陸上競技選手の手

末大さんとお話をする機会があるなど、様々な面からスポーツに携わることについて考える1日となりました。そして聖火リレーで走った30mは、私の中で大きな経験となり、一生の思い出になりました。今回の聖火リレーに参加したことで、私の夢である「ひまわりのように明るく誰からも頼られるような体育の先生になる」という想いがより強くなりました。また、スポーツの素晴らしさを世界中の人に自分の言葉で伝えたいという新たな夢もできました。現在コロナウイルスの影響で世の中が暗くなっていますが、明るい未来が戻ってくることを信じて、夢に向かって頑張ろうと思えたこの経験を活かし、感謝の気持ちを忘れずどんな事にも積極的に挑戦していこうと思っています。

2年 藤原 佑妃



経営学科

離れていても一人一人顔の見える授業を



分は1人ではないことを実感し、安心して学んでいただく。

この問題意識から、遠隔授業の期間中、経営学科では1年生必修科目「基礎演習Ⅰ」でZoomを用い、遠隔でもお互いの顔が見える授業を行っています。その際、1年生がZoom内で少人数グループに分かれる時間を設けるようにしています。その時間の中で、グループワークに積極的に取り組んでいただき、また遠隔授業受講に際し悩みや困りごとがあればグループの仲間や教員に相談できるようにしてきました。これによって1年生同士の交流が深まるだけでなく、我々教員も学生一人一人のことを知っています。

6月第2週からは、本学構内に店を作るなら何が良いかを経営学的に話し合う、数週に渡るグループワークが始まります。身近なトピックについて活発に議論していただくことで、1年生同士が更に互いを深く知り、また学生の新たな側面を我々教員が知ることが出来る機会を今から楽しみにしています。

准教授 本田 良平

こども学科

遠隔授業の実践と改善



こども学科では、新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴い5月10日(月)から再び全科目(原則)遠隔授業での実施を行っています。すでに昨年度の前期・後期の一部期間にて、こども学科の学生たちや教員は遠隔授業を行ってきました。本学では、数年前より入学時に全学生パソコン必携化とし、ICT機器を用いた教育を推進してきました。そのため、コロナ禍における遠隔授業移行への環境は、整っていたと言えます。さらに学校法人福山大学から、全学生を対象に遠隔授業に必要な環境を整えるための補助として、1名あたり5万円が支給され、学修環境を整えて参りました。そのかいがあつて、昨年度私たち教員は、初体験となる遠隔授業の実施へ「挑戦」することができました。

私にとって、今年度の遠隔授業は「挑戦」ではなく、「質向上」が目標です。幸いにして、昨年度自身が行った授業が全て動画として残っています。これらを1年ぶりに見返すと、意図が十分伝わりにくい説明をしていたり、本質に迫ることのできない指導になっていたりと、多くの課題も見つかりました。またピアノ実技指導を伴う授業では、撮影する角度を工夫し視聴する視点を変えることで、学生が感じる難しさを解きほぐすことができることも感じました。こういった課題を克服し「質向上」に向けた取り組みを継続することで、学生自身が成長を実感できる遠隔授業にしたいと考えています。

教授 伊藤 憲孝

Topics 学科トピックス

福祉学科

新しく始まる 地域福祉課題解決演習in 邑南町



▲職場の上司と日高拓真さん(右側)

で行います。

先日、協力いただく邑南町社会福祉協議会に伺い、演習の内容、進め方について打ち合わせを行いました。そこには、今春から社会福祉協議会に勤める卒業生の日高拓真さん(福祉活動専門員)が、後輩の新たな学びをサポートするために同席してくれました。邑南町は、人口約1万人、高齢化率44.9%(令和3年4月30日時点)と高齢化の進む町ではあるものの、「日本の子育て村構想」を掲げ、12の公民館単位で地区別戦略を立て特色ある活動を進めています。今回の演習は2泊3日と短い期間ではありますが、参加する学生には地域の取組みを直接自分の目や耳で体感することを通して、中山間地域における福祉課題の実感を学んでほしいと願っています。

教授 岡部 真智子

看護学科

新型コロナウイルスの感染予防に対応した公衆衛生看護学領域(保健師課程)の学習内容

公衆衛生看護学領域は、保健師(保健師課程は3年次生・4年次生各15名以内)を養成する為の教育を行っています。現在はコロナ禍の為、講義自体は遠隔での実施となっています。実習は福山市での保健所実習を全員終了し、緊急事態宣言が解除となった後に市町村実習を行う予定となっています。また、産業保健実習として中国労働衛生協会(各グループにより実習先は異なります)での実習を行っています。

保健師課程の学生は15名の養成となっている為、Zoomや本学のシステムであるゼレソを活用する等、コロナ対策を行った講義を工夫しながら遠隔で実施しています。

今回は4月の遠隔授業になる前に保健師課程の3年次生が4年次生を対象に運動教室を行った講義内容をご紹介します(左記の写真)。この講義では保健師課程の学生(3年次生)が運動教室の企画立案を行い実施しました。計測方法や手順などの実施方法を各項目ごとに検討し、また体育館で実施する上で実施場所の配置や各学生の距離などコロナ対策をどの様に行うのかも含め検討し、学生主体で実施しました。実際に行う事で、手指消毒や学生間の距離を取るなど、注意点をしっかりと説明していましたが、計測を行い始めると学生間の距離の確保の難しさがあるなど、運動教室でのコロナ対策の難しさや重要性を体験することが出来ました。

准教授 齋藤 公彦



News!

令和3年度 入学式



▲入学式会場



▲新入生宣誓



▲理事長挨拶

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止措置の観点から式典当日は、新入生のみで時間短縮し開催しました。学部・大学院・専攻科あわせて306名の新入生が入学しました。

新入生宣誓では、看護学科の小笠原怜奈さんが代表して壇上に上がり、「私達は福山平成大学に入学のうちは本学の学則を守り学生としての本分を尽くしその責務を果たすことをお誓いいたします」と、力強く宣誓文を読み上げました。

News!

キャンパス体験会について

本学では、高校生や保護者の方に、学内施設や模擬授業、実習・演習等を体験していただくために、キャンパス体験会を実施しています。今年度は6月19日(土)、7月11日(日)、8月21日(土)、9月11日(土)、2022年の3月12日(土)の5回が予定されています。第1回目の6月19日(土)は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンラインでのキャンパス体験会になりました。7月以降のキャンパス体験会も新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら実施形態を検討していく予定です。

キャンパス体験会は、本学の入試制度や施設の紹介だけではなく、各学科の教員や学生による学校紹介や学科紹介があります。本学の魅力を直に感じていただければ幸いです。オンラインのキャンパス体験会では、各学科が工夫を凝らしたコンテンツを準備しています。さらに、ビデオ会議アプリケーションの「Zoom」を活用したオンライン個別相談を実施し、学科カリキュラムや奨学金制度をはじめ、学生のキャンパスライフ全般に関わる質問に本学教職員が回答します。本学のホームページには、学科紹介や模擬授業の動画が多数公開されています。こちらのコンテンツもぜひチェックしてみてください。

令和4年度 入学者選抜日程

総合型選抜(一般)

試験種別	試験日	学部	出願期間	合格発表	手続締切
I 期	10月 26日(火)	経営	10月 1日(金) ~ 10月 20日(水)	11月 1日(月)	11月 11日(木)
II 期	11月 25日(木)	福祉健康	11月 5日(金) ~ 11月 19日(金)	12月 3日(金)	12月 14日(火)
●エントリーシートの提出	I 期 9月 1日(水) ~ 6日(月)		II 期 9月 29日(水) ~ 10月 5日(火)		
●面談結果通知	I 期 9月 28日(火)		II 期 11月 4日(木)		

一般選抜

試験種別	試験日	学部	出願期間	合格発表	手続締切
公募推薦型選抜	A日程 11月16日(火)・11月17日(水)	全学部	11月 1日(月) ~ 11月 11日(木)	12月 1日(水)	12月 10日(金)
	B日程 12月11日(土)	全学部	11月 25日(木) ~ 12月 8日(水)	12月 15日(水)	12月 24日(金)
一般選抜前期	A日程 1月31日(月)・2月 1日(火) 2月 2日(水)・2月 3日(木)	全学部	1月 5日(水) ~ 1月 25日(火)	2月 8日(火)	2月 18日(金)
	B日程 2月18日(金)	全学部	2月 4日(金) ~ 2月 15日(火)	2月 22日(火)	3月 4日(金)
一般選抜後期	3月 5日(土)	全学部	2月 24日(木) ~ 3月 1日(火)	3月 9日(水)	3月 25日(金)
大学入学共通テスト利用選抜	前期 個別学力試験は課さない	全学部	1月 5日(水) ~ 1月 25日(火)	2月 8日(火)	2月 18日(金)
	後期 個別学力試験は課さない	全学部	2月 24日(木) ~ 3月 1日(火)	3月 9日(水)	3月 25日(金)

※備考:大学入学共通テスト 1/15(土)・1/16(日)

■ テーマ

「持続可能な地域社会を考える」

「持続可能な社会」を実現するには、どうすればよいのでしょうか。

人間と社会にとって「地域」とはいったい何なのか、望ましい地域のあり方を考えます。

■ 日時 全5回(9月9日、16日、30日、10月7日、14日)
18:30 ~ 20:00

■ 受講対象者及び定員 一般市民 250名

■ 会場 福山平成大学 7号館大講義室

■ 受講料 無料

第1回 9月9日 「生涯発達の視点から地域の教育・共生を考える」

こども学科 川島 範章 教授

発達とは、子どもが成人になる過程だけに見られるものではありません。近年では、壮年期や高齢期における変化も発達という概念に含んで、「生涯発達」ということが言われるようになりました。この生涯を通じて量的にも質的にも変化する人の発達についてはさまざまな考え方があります。持って生まれたものが開花していくイメージもあるかもしれませんが、さまざまな学習の機会やこうなりたいという意志、さらに、そういうことを実現していくための環境などが大きく影響します。代表的な発達理論から、少子化、人口減少と地域偏在化など社会環境が大きく変化している地域の教育や共生について考えます。

第2回 9月16日 「東京オリンピックを考える」

健康スポーツ科学科 藤本 太陽 講師

近年、オリンピック・パラリンピックは大きな盛り上がりを見せています。そして、選手の活躍はもちろんのこと、選手の競技力向上を支える科学的なサポートについても注目されています。しかし、具体的なサポート内容についてはあまり知られていないのが現状です。そこで、本講義では、選手の競技力向上を支える科学的なサポートについて焦点を当て、地域や国で行っている取り組みについて紹介します。

第3回 9月30日 「SDGs時代の地域の企業経営を考える」

経営学科 岩本 敏裕 講師

21世紀に入り、デジタル技術の進展やグローバル化の進展に伴い、企業を取り巻く環境が変化していくなかで、経営戦略においてイノベーションが重視されるようになってきました。他方では、企業と社会との関係から、企業の社会的責任や環境に配慮した経営が求められるようになってきました。また、地域の企業をいかに活性化するかといった議論も重視されるようになっていきます。こうした状況において、近年、注目されているのがSDGsを活かした企業経営です。SDGsは、2015年に国連総会で採択された2030年に向けた持続可能な開発目標ですが、企業経営との関わりが深いものとなっています。この講座では、地域の企業に焦点を当てて、SDGs時代における企業経営について福山の企業の事例もご紹介し、考えます。

第4回 10月7日 「口腔ケアを行って感染から身を守ろう」

看護学科 大塚 千秋 准教授

肺炎を繰り返す、風邪をひきやすい、なんとなくおなかの調子が悪いなどの症状が気になっている方はおられません。これらの症状は、適切な口腔ケアを実施し口腔内を清潔にして嚥下機能を回復することで改善するかもしれません。インフルエンザ、コロナなどの呼吸器感染症が心配という方に対しても感染予防としての効果も期待できます。日頃から口腔ケアを行うことは、心身機能の向上を図り感染を予防して健康寿命の延伸につながるだけでなく、アンチエイジングにもつながり美しさをサポートします。口腔ケアを実践し、QOL(クオリティ・オブ・ライフ=生活の質)の維持向上を目指しましょう。この講座は、感染症を予防し健康長寿を目指す社会貢献としてSDGsに参画します。

第5回 10月14日 「地域と福祉の視点から考える犯罪者の更生」

福祉学科 荻野 太司 准教授

刑事施設は社会を映す鏡であると言われています。現在、日本社会の少子高齢化を反映して、少年院収容者は平成12年のピークに比べて3分の1に減少している一方で、刑事施設の高齢受刑者は平成元年に比べて約7倍に増加しています。このような社会における犯罪・非行、そして犯罪・非行を行った人々への望ましい処遇とは、いかなるものなのでしょうか。福山における様々な取り組みをヒントに、地域と福祉の視点から、持続可能な社会づくりに向けた犯罪者の更生について考えます。

令和3年度 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金、科学研究費補助金)採択一覧

所 属	職 名	氏 名	研 究 種 目	研 究 内 容	研 究 期 間	交付金額
経営学部	教授	市瀬 信子	基盤研究(C)	清朝康乾年間における、地方文献編纂と詩会活動を背景とした杭州詩人達の葛藤と文学	令和3年度～令和5年度	403万円
福祉健康学部	教授	古賀 一博	基盤研究(C)	教員人事評価制度改善のための東アジア国際比較共同開発研究	令和3年度～令和6年度	403万円
福祉健康学部	教授	上村 崇	基盤研究(C)	道徳教育における哲学対話を援用したいじめ現象抑止プログラムの開発	令和3年度～令和5年度	234万円
経営学部	教授	堀越 昌和	若手研究	自然災害からの中小企業の復興プロセスと事業承継計画に関する研究	令和元年度～令和3年度	234万円
福祉健康学部	教授	岡部真智子	基盤研究(C)	地域で連携して取り組む居住支援プログラムの実践的開発と検証	令和2年度～令和6年度	340万円
福祉健康学部	教授	杉本 浩章	基盤研究(C)	地域包括ケア時代の看取りと専門職間協働	平成29年度～令和3年度	340万円
看護学部	教授	岡 和子	基盤研究(C)	高等学校(看護)教育実習における学生の自己評価表の開発に向けて	令和元年度～令和3年度	91万円

貸借対照表 (令和3年3月31日) (単位：円)			
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	59,332,722,840	固定負債	2,133,089,128
有形固定資産	31,801,463,772	長期借入金	263,790,000
土地	6,890,160,619	退職給与引当金	1,775,999,200
建物	17,075,875,599	長期未払金	93,299,928
構築物	829,349,037	流動負債	2,633,623,093
教育研究用機器備品	2,083,994,114	短期借入金	47,760,000
管理用機器備品	31,675,672	未払金	72,280,783
図書	4,843,457,826	前受金	2,379,733,575
車両	45,882,827	預り金	133,848,735
船舶	1,068,078	負債の部合計	4,766,712,221
建設仮勘定	0		
特定資産	27,494,733,372	純資産の部	
第2号基本金引当特定資産	2,000,000,000	科目	金額
退職給与引当特定資産	1,775,999,200	基本金	56,263,972,891
減価償却引当特定資産	15,973,871,231	第1号基本金	53,775,972,891
校舎建設等引当特定資産	3,575,757,976	第2号基本金	2,000,000,000
創設準備引当特定資産	4,169,104,965	第4号基本金	488,000,000
その他の固定資産	36,525,696	繰越収支差額	3,541,187,045
電話加入権	3,048,426	翌年度繰越収支差額	3,541,187,045
施設利用権	600	純資産の部合計	59,805,159,936
保証金	33,316,670		
敷金	160,000	負債及び純資産の部合計	64,571,872,157
流動資産	5,239,149,317		
現金預金	5,011,201,001		
未収入金	108,599,753		
有価証券	81,363,520		
前払金	36,984,792		
仮払金	1,000,251		
資産の部合計	64,571,872,157		

貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)の状況を示すものです。資金収支計算書と事業活動収支計算書が半年度の収支を示すのに対して、貸借対照表はこれまでの財務状況の積み重ねを示しています。

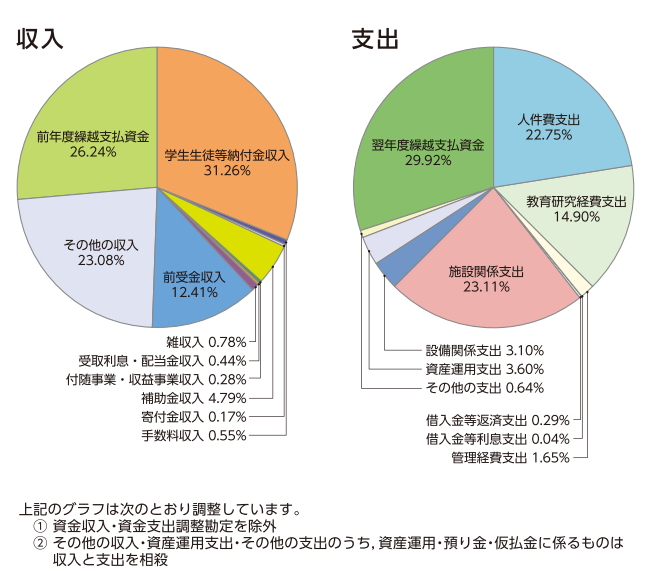
資産の部	
固定資産	次の有形固定資産、特定資産、その他の固定資産の合計
有形固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する有形の資産で、土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車輦等
特定資産	基本金引当特定資産及び各種引当特定資産
その他の固定資産	電話加入権、施設利用権、有価証券等
流動資産	現金預金、未収入金、貯蔵品等
負債の部	
固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
純資産の部	
基本金	学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れた金額で、第1号基本金から第4号基本があります
第1号基本金	教育活動を行うために取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産の取得に充てる金銭及びその他の資産の額
第3号基本金	奨学金等の基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭及びその他の資産の額
第4号基本金	恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額
繰越収支差額	累積の収支状況を示しており、事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額と一致します

財産目録 (令和3年3月31日) (単位：円)			
一 資産 額			
1. 基本財産			33,801,463,772
土地	338,143 m		6,890,160,619
建物	162,622 m		17,075,875,599
構築物			829,349,037
教育研究用機器備品	3,498 点		2,083,994,114
管理用機器備品	161 点		31,675,672
図書	449,182 冊		4,843,457,826
車両	33 台		45,882,827
船舶	2 艇		1,068,078
建設仮勘定			0
第2号基本金引当特定資産			2,000,000,000
2. 運用財産			30,770,408,385
現金預金			5,011,201,001
退職給与引当特定資産			1,775,999,200
減価償却引当特定資産			15,973,871,231
校舎建設等引当特定資産			3,575,757,976
創設準備引当特定資産			4,169,104,965
電話加入権			3,048,426
施設利用権			600
保証金			33,316,670
敷金			160,000
未収入金			108,599,753
有価証券			81,363,520
前払金			36,984,792
仮払金			1,000,251
資産総額			64,571,872,157
二 負債 額			
1. 固定負債			2,133,089,128
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		263,790,000
退職給与引当金			1,775,999,200
長期未払金			93,299,928
2. 流動負債			2,633,623,093
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		47,760,000
未払金			72,280,783
前受金			2,379,733,575
預り金			133,848,735
負債総額			4,766,712,221
正味財産(資産総額－負債総額)			59,805,159,936

監査報告書	
学校法人 福山大学	令和3年3月31日
理事長 田中 耕平	
評議員 田中 耕平	
監事 安藤 昇	
監事 花渡 耕一郎	
私たちは、福山大学監査委員3名及び学校法人福山大学監事執行委員3名の協定に基づき、学校法人福山大学の令和3年度(令和3年4月1日から令和3年3月31日まで)の業務並びに財務の状況及び理事の業務執行の状況について監査した。 私たちは監査に当たり、理事長及び評議員に対しては、理事長等から監査の報告を聴取し、重要な決断事項等を指摘するとともに、会計監事より適宜に、請求書類について検討するなど、必要と思われる監査手続を実施した。 監査の結果、学校法人福山大学の業務に関する決断及び執行並びに理事の業務執行は適切であり、財務健全、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表(固定資産等)の誤差、誤入金額等及び基本金等使用状況を、並びに諸活動の、会計帳簿の記載を信頼し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務執行は財源又は理事の業務執行に関する不当の行為、または、故意若しくは重大な過失に基づくものとは認められず、	
監事	

令和2年度 学校法人福山大学財務状況

資金収支計算書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日) (単位：円)			
収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,995,505,826	人件費支出	3,810,833,682
手数料収入	106,281,624	教育研究経費支出	2,496,021,142
寄付金収入	31,805,709	管理経費支出	276,995,664
補助金収入	918,765,349	借入金等利息支出	6,569,785
資産売却収入	0	借入金等返済支出	47,760,000
付随事業・収益事業収入	53,994,265	施設関係支出	3,871,817,202
受取利息・配当金収入	83,415,487	設備関係支出	518,498,685
雑収入	149,644,027	資産運用支出	6,702,982,370
借入金等収入	0	その他の支出	2,484,885,244
前受金収入	2,379,733,575	資金支出調整勘定	△ 145,627,918
その他の収入	12,903,126,613		
資金収入調整勘定	△ 2,573,122,550		
前年度繰越支払資金	5,032,786,932	翌年度繰越支払資金	5,011,201,001
収入の部合計	25,081,936,857	支出の部合計	25,081,936,857



資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていないませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目の説明	
収入の部	
学生生徒等納付金収入	授業料・入学金・実験実習料等の収入
手数料収入	入学検定料や各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金収入	金銭及びその他の資産を寄贈者から贈与された収入
補助金収入	国または地方公共団体から交付される補助金収入
資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却による収入
付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業および収益事業による収入
受取利息・配当金収入	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
借入金等収入	返済期限が貸借対照日後1年を超えて到来する長期借入金と1年以内の短期借入金及び学校債の発行による収入
前受金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収入したもの
その他の収入	上記以外の収入で、各種特定資産の取崩収入及び預り金等の収入
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入ですが、資金の収入が当年度内に行われず、前年度以前または翌年度以降となる項目を調整する勘定科目

支出の部	
人件費支出	教職員人件費、役員報酬、退職金に係る支出
教育研究経費支出	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学金、通信費、印刷製本費等の支出
管理経費支出	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出
借入金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出
施設関係支出	土地、建物、構築物等の固定資産の取得に係る支出
設備関係支出	機器備品、図書、車両等の取得に係る支出
資産運用支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得に係る支出
その他の支出	上記以外の支出で、前払金、仮払金等に係る支出
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出であるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは、翌年度以降になるもの

事業活動収支計算書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日) (単位：円)	
科目	金額
教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	5,995,505,826
手数料	106,281,624
寄付金	43,983,248
経常費等補助金	896,153,349
付随事業収入	53,994,265
雑収入	149,644,027
教育活動収入計	7,245,562,339
事業活動支出の部	
人件費	3,814,214,632
教育研究経費	3,341,814,326
管理経費	350,215,992
徴収不能額等	0
教育活動支出計	7,506,244,950
教育活動収支差額	△ 260,682,611
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	83,439,573
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	83,439,573
事業活動支出の部	
借入金等利息	6,569,785
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	6,569,785
教育活動外収支差額	76,869,788
経常収支差額	△ 183,812,823
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	0
その他の特別収入	28,884,351
特別収入計	28,884,351
事業活動支出の部	
資産処分差額	134,533
その他の特別支出	0
特別支出計	134,533
特別収支差額	28,749,818
基本金組入前当年度収支差額	△ 155,063,005
基本金組入額合計	△ 96,614,293
当年度収支差額	△ 251,677,298
前年度繰越収支差額	3,792,864,343
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	3,541,187,045
(参考)	
事業活動収入計	7,357,886,263
事業活動支出計	7,512,949,268

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、毎会計年度の3つの活動(教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動)に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。

科目の説明	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料・入学金・実験実習料等の収入
手数料	入学検定料や各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金	資金収支の寄付金収入に現物寄付を加えた額（施設設備に係る寄付は除く）
経常費等補助金	国や地方公共団体から交付される補助金収入（施設設備に係る補助金は除く）
付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
受取利息・配当金	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
その他の教育活動外収入	収益事業等からの収入
資産売却差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を超えた場合の超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、補助金及び過年度修正額による収入

事業活動支出の部	
人件費	教職員人件費、役員報酬、退職金に退職給与引当金繰入額を加えたもの
教育研究経費	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学金、通信費、印刷製本費等の支出に減価償却額を加えたもの
管理経費	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出に減価償却額を加えたもの
徴収不能額等	前年度以前に計上した未収入金等で、当年度において回収不能と判断した額
借入金等利息	借入金及び学校債の利息に係る支出
その他の教育活動外支出	為替差損等に係る支出
資産処分差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を下回った場合の差額及び資産を売却した場合の除却損
その他の特別支出	災害損失及び過年度修正額に係る支出

その他の項目	
基本金組入前当年度収支差額	当年度における教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の全ての収入と支出の差額
基本金組入額合計	第1号基本金から第4号基本金の当年度組入額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除した当年度の収支差額
前年度繰越収支差額	前年度までの累積収支差額
基本金取崩額	基本金を取り崩した場合の額
前年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額と基本金取崩額を加えた額で翌年度に繰り越す収支差額
事業活動収入計	当年度の事業活動収入の合計
事業活動支出計	当年度の事業活動支出の合計

ご逝去 松井 弘志 准教授

福祉健康学部健康スポーツ科学科の松井弘志准教授(46歳)が去る令和3年5月16日にご逝去されました。先生は主にコーチング学を専門とし学生に指導されると共に、20年以上にわたり男子バレーボール部も指導されました。平成12年に男子バレーボール部の外部コーチに、平成16年に監督に就任されました。また、平成30年には、全日本大学選手権大会(インカレ)で中国地方勢初の準優勝、翌年はベスト8に導くなど、数多くの素晴らしい成績を残されました。

葬儀には、大学関係者並びに全国各地からOB、バレーボール関係者の方々が訪れ、松井先生とのお別れを惜しみました。

生前の多大なるご活躍に敬意を表すとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。



監督としての松井先生は「無口で多くを語らない人」。多くの学生はそういう印象を抱いていたと思います。しかし、実際は学生想いの熱い監督でした。

最期に練習を観に来られた日、学生に対して叱咤激励をされている場面がありました。自身の体調が優れないにも関わらず、学生と全力でぶつかるその姿は、まさに福山平成大学男子バレーボール部に人生をかけてきた「監督松井弘志」そのものでした。

これからは私達が松井先生の意志を受け継ぎ福山平成大学男子バレーボール部を守っていきます。そして多くの勝利報告ができるように私たちは今日も体育館で汗を流します。

松井先生、どうか私どもを今までと同様に温かく見守ってください。どうぞ安らかに眠りください。

男子バレーボール部 4年 小野 将忠

松井先生がご逝去され、日本を代表するVリーグチームに所属する卒業生を含む多くのバレーボール関係の方々から先生への感謝の言葉とチームへの応援メッセージが届きました。中でも松井先生を慕う卒業生たちの思いの強さに接し、改めて松井先生の偉大さを実感するとともに責任の重さを痛感しています。

現在、学生たちは福山平成大学のバレーボール部員であることに誇りを持ち、部活だけでなく、学業面、生活面においても一人ひとりが為すべきことを考え、目標を達成するために日々努力を続けています。

これからも松井先生が築かれた学生の自主性を重んじる指導法を中心に、信用・信頼・期待される人物評価を重視した人間教育を継承していきたいと考えています。

今後も皆様方の暖かいご支援ご協力どうぞよろしくお願い申し上げます。

男子バレーボール部 部長 永井 純子

令和3年度 サークル活動記録

2021/4/1~6/10

ソフトテニス部

第43回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会
第65回中国学生ソフトテニス優勝大会
第23回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会
4/28~5/2 山口県キリンビバレッジ周南庭球場

男子団体	準優勝
女子団体	優勝
男子ダブルス	準優勝
野中 晴生 (健スポ2)・石田 新太郎 (経 営4)	ペア
3位	與那嶺 晃大 (健スポ4)・松本 遥 (こども4)
3位	大橋 涼 (健スポ3)・金原 大智 (健スポ4)
女子ダブルス	優勝
矢野 陽子 (福 祉3)・犬飼 のどか (こども1)	ペア
2位	岡崎 あゆみ (健スポ1)・大曾根 史乃 (こども1)
3位	柴原 香琳 (こども4)・楠見 碧衣 (福 祉4)
3位	犬飼 ひより (こども4)・川原 凪 (健スポ2)
男子シングルス	優勝
樽村 拓哉 (健スポ4)	
女子シングルス	優勝
柴原 香琳 (こども4)	
準優勝	岡崎 あゆみ (健スポ1)
3位	矢野 陽子 (福 祉3)
3位	犬飼 ひより (こども4)

男子バレーボール部

第93回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会
5/7~9 安佐北区スポーツセンター 他

準優勝

女子バレーボール部

第93回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会
5/7~9 安佐北区スポーツセンター 他

5位

陸上競技部

第75回中国四国学生陸上競技対校選手権大会
5/14~16 高知県立春野総合運動公園陸上競技場

男子 400m	3位	檜垣 正昭 (健スポ4)
10000m競歩	3位	池田 健人 (健スポ1)
走高跳	4位	小林 祐大 (健スポ1)
十種競技	5位	穂積 赳史 (健スポ2)
女子 10000m競歩	1位	三好 彩奈 (健スポ2)
七種競技	3位	榎本 和音 (健スポ2)
400mハードル	6位	菊本 佳那 (健スポ4)

2021日本学生陸上競技個人選手権大会
6/4~6 レモンガススタジアム平塚

男子 走高跳 出場 小林 祐大 (健スポ1)

編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発行 福山平成大学

発行日 2021年7月20日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <http://www.heisei-u.ac.jp/>



御幸五訓

一、真理を求め、
道理の実践を志向する。
二、豊かな品性と魅力ある
個性を伸ばす。
三、不屈の魂を養い、
紐帯性を培う。
四、生命を尊重し、
自然を畏敬する心情を育む。
五、誠実と倫を胸に刻み、
夢の実現に挑む。